

日本寺ニュースレター



Nipponji news letter

2019年（平成31年）1月発行
（公財）国際仏教興隆協会



2018年11月24日記念法要時

❀ 新年あけましておめでとうございます ❀

各界皆様におかれましては、素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年（2018年）は国際仏教興隆協会財団創立50周年、印度山日本寺開山45周年、菩提樹学園開園40周年、光明施療院開院35周年という節目の年でした。

11月24日にはインドブッダガヤの日本寺に於て、印度山日本寺開山45周年を中心とした記念の法要を厳修させていただきました。当日は協会関係者をはじめ、（公社）日本仏教保育協会、（公社）全日本仏教婦人連盟の方々や私と同行して下さった40名余の参拝団の皆様、そして日本大使館の参事官が参列してくださいました。

私にとりましては今回の日本寺での法要は誠に感慨深いものでございました。と申しますのも、45年前の1973年12月の日本寺本堂落慶法要に南都仏教界式衆の一員として出仕しておりましたからです。

まさか45年後に日本寺本堂で節目の年となる記念の法要を、しかも竺主として勤めさせていただくとは思ってもよらぬことでした。これも仏陀釈尊のお導きによる仏縁とありがたく思いますと共に、竺主としての責任の重さをひしひしと感じております。

ところで竺主に就任して気付いたことがございます。それは日本仏教界が宗派を超えてブッダガヤに日本寺を開創し維持管理すると共に宗教福祉事業を行い、地域の人々に手を差し伸べていることを一般の方はもちろん、仏教界の一部にも認識されていないように思えることです。

せっかく子供達をはじめ地域の人々に菩薩行（布施行）をさせていただいているにもかかわらず残念でなりません。これと共に宗派を超えて駐在して下さっている僧侶方の活動も含め、皆様にお知らせすることも私の努めかなと思っております。

此の度の節目の周年を機に、日本寺のより一層の興隆と諸事業の推進充実を目指すために、協会関係者やスタッフの方々と手を携え精進してまいりたいと存じます。

末筆ながら、仏教界はじめ各界の皆様にとって良き一年でありますこととお祈り申し上げますと共に、日本寺へのご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。合掌

印度山日本寺 竺主 東大寺長老 北河原 公敬

❀ 新春のお慶び申し上げます ❀

皆様には恙なく平成最後の新年をお迎へのこととお慶び申し上げますと共に、益々のご隆盛をお祈り申し上げます。

平成30年は、国際仏教興隆協会財団設立50周年、印度山日本寺開山45周年、菩提樹学園開園40周年、光明施療院開院35周年という記念の年でありました。当協会としましては、11月後半に(公社)日本仏教保育協会・(公社)全日本仏教婦人連盟の皆様と共にお釈迦様の足跡を辿るインド参拝を実施致しました。日本寺においては、北河原竺主猊下と猊下随行団体の皆様と共に記念法要を勤めさせて頂きました。ブッダガヤ隣山会所属の各国僧侶による勤行の後、竺主御導師による記念法要を厳修の後、会場を講堂に移して、菩提樹学園園児達の元気な歌や踊り、寸劇等が披露され、楽しくも充実した、意義深い一時を過ごすことが出来ました。

お陰様で記念の一年を無事に円成することが叶い、本年中には仏教学東洋学研究所図書館棟が落慶する運びとなっています。日本寺竺主の東大寺長老・北河原公敬猊下におかれましては、常々当協会の活動にご尽力を賜り、特にブッダガヤに於ける日本寺の存在意義と現地での教育や医療等福祉活動について、多方面の方々にご理解を頂くお働きかけを頂いており、ご教導に心より御礼を申し上げるばかりです。本年も竺主猊下を中心に仏恩報謝、仏法興隆、世界平和、日印友好を目指し、(公社)日本仏教保育協会・(公社)全日本仏教婦人連盟はじめ有縁の皆様と共により多くの皆様のご理解、ご協力、ご協賛を賜われるよう精進努力して参る所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。 合掌

(公財)国際仏教興隆協会理事長 大樹寺貫主

中村康雅

日本寺



**財団設立50周年・印度山日本寺開山45周年
菩提樹学園40周年・光明施療院35周年法要厳修**



2018年11月24日、北河原公敬竺主を御導師に上記の周年記念法要を奉修いたしました。半世紀に亘る各方面の皆様からのご支援のお陰様で日本寺諸事業の節目を迎えられましたことを、心より感謝申し上げます。当日は、約80名の方々がご参列いただきました。在インド日本大使館の堀参事官よりのご祝辞、(公社)日本仏教保育協会・高山久照副理事、(公社)全日本仏教婦人連盟・東伏見俱子会長よりのご挨拶に続き、当日ご参列が叶わなかった祐天寺巖谷勝正住職より御祝電を賜り、祐天寺日向哲空師に代読いただきました。また、東大寺様はじめご参列の皆様よりご芳志を賜りましたことと共に厚く御礼申し上げます。

また、2019年1月23日には、ホテルグランヴィア京都にて記念祝賀会を開催させていただきます。皆様のご来臨をお待ち申し上げております。



◆(公社)仏教婦人連盟納経・薬師寺納経法要◆

11月24日記念法要終了後、(公社)仏教婦人連盟の皆様からお寄せいただいた写経を宝篋印塔へご納経いただきました。2018年10月10日に開催されました(公社)仏教婦人連盟大会に於いて、納経料を含め平成30年度の寄附金400万円の目録贈呈が中村康雅理事長に対して行われました。

2018年11月27日、大谷徹煥薬師寺副執事長を御導師に第10回薬師寺東塔大修理特別写経納経法要が厳修され3000巻の納経料として90万円のご寄附をいただき、更に薬師寺結縁衆の皆様より日本寺、菩提樹学園の運営支援として50万円のご寄附を賜りました。両団体様からの写経による日本寺へのご支援に心より御礼申し上げます。

菩提樹学園

◆創立40周年記念学芸会◆

2018年11月24日、本堂での法要厳修後、境内内講堂にて菩提樹学園創立40周年記念学芸会が開催されました。園児たちはこの日のために半月前から毎日練習を重ね、歌や踊り、劇(シンデレラ)を披露しました。

この度の周年記念に際し、福島ルンビニー幼稚園、吉岡棟憲先生より菩提樹学園へのご寄附を頂き、当日、(公社)日本仏教保育協会・高山久照副理事から当協会・中村康雅理事長へ目録の贈呈が行われました。また、(株)サクラクレパス様よりクレパスのご寄贈をはじめ、この度の記念行事にご参加の方々より文具等のプレゼントを賜りました。皆様からの温かいご支援に衷心よりの感謝申し上げます。



光明施療院

＝◆防疫で「救えるいのち」◆＝

開院から35周年を迎え、医師の死亡、法律の改定等により施設運営が苦しい状態となった光明施療院は、防疫という新たな側面で菩提樹学園の園児を中心とした奉仕活動を展開すべく具体的な実施手段等について現在継続協議中です。健康を根本的に支える保健衛生に関わる知識の低さ故に、やすやすと亡くなっていくいのちが多くある中で、「なぜ病気になるのか」「どうしたら病気を防げるのか？」を菩提樹学園保護者会を軸として啓蒙しながら「救えるいのち」を大切にするためのプログラムを用意し、防疫と保健思想への知識普及に努めてまいります。

IBOS

＝◆本年の完成にむけて◆＝

建設途中の仏教学東洋学研究所、図書館棟の躯体工事はほぼ完了し、現在内部の設備などを整え、本年中の完成に向けて工事が進んでおります。落慶後は、長年にわたり駒澤大学様からご寄贈いただいている仏教書をはじめ各専門書や、昨年(公財)仏教伝道協会様よりご寄贈いただきました各国語仏教聖典などが閲覧可能となります。



ブッダガヤ便り

＝◆前正覚山◆＝



唐朝期に玄奘三蔵法師による旅行記『大唐西域記』にその名が記されたことが、北伝仏教諸国に一気その名前を広めるきっかけになりました。前正覚山すなわちお釈迦様が「お悟り前に居られた」ということで、より親しみを感じるのか、仏教をまず仏伝から学ぶチベット民族にとって前正覚山は、金剛宝座の畏れ多さの対極にイメージされる半ば心のふるさとで、一生涯に及ぶ仏跡巡拝の出発点と教え伝えられるため、10月か

ら2月までの巡拝シーズンにはチベット仏教徒であふれます。

釈尊ご成道にまつわる仏跡が蝟集するブッダガヤの傍らを南のランチャー山地から北流するニーランジャンナ河(尼蓮禅河)の岸边に立って山並みを端から端まで一望に見渡すと、左に比丘／右に菩薩が対蹠(かかと合わせ)仰臥した形に見え、右側の仰臥された菩薩の頸(くび)の窪みから燦々と昇る朝日の神々しさは、仏教発祥以前の古代インドの時代から敬われてきており、いわく、ここに神や仏のご来迎を見たように、日の出の山なみの向こうに極楽世界を想像するのも肯けましょう。

河の上流にダムが築かれる以前、まだ尼蓮禅河に豊かな流れがあった頃の春分の夜明け前に、女性たちが水に入り、昇ってくる太陽に供物をかざして祈るチャート・プジャ(豊穡祈願)の横並びになったさまざまなサリーの色どりと昇る太陽は、神々しくもうっとりするような風景で、スジャータ乳粥献上の地も近い対岸の中洲では、近郷近在から綺麗にお化粧を施された牛の集まるゴラ・メラ(牛の市)が春霞の中に開かれて、夢のような一日でした。

また、とてつもなく広い面積を持つインドの国土ですが、ヒンドゥー教徒にとっては、このブッダガヤの地の、その風景に対峙する河べり53地点だけが先祖に会える場所とされ、一生に一度できれば三度、家族でこの河べりに集まり、聖樹の枝で組んだ櫓の下に米の粉で作った団子を積み重ね、先達プジャリ(祭司)の唱えるマントラに合わせて故郷から持参した水滴を注ぐピンダ・ダーン儀礼を行うべし、とされていますので、インド人であれば、ガヤ・ブッダガヤの地名を知らない人はほとんど居ません。

私たち仏教徒にとって最高の聖地であるお釈迦様ご成道の聖地・大菩提寺大塔(の境内)ですが、彼らにとっては、ここがその53ヶ所の結願地点となっていますので、この季節(麦踏み後)に大塔に詣でられた方の中にはこうしたシーンを眼にされた方もお有りでしょう。

われわれ仏教徒になじみある彼岸会・孟蘭盆会の風景、心のふるさとに昇る朝日です。

日本寺管理局長 大工原彌太郎

加藤泰惇（臨済宗妙心寺派 宝樹院） 駐在期間：2017年9月10日～2018年9月18日

お釈迦様の御成道の地ブッダガヤにて一年間勤めさせて頂きました。きっかけは円覚寺での修行中に横田南嶺老大師よりお声掛けを頂いた事でした。そこから師匠や周りの方々から応援を頂いて駐在が実現致しました。

ブッダガヤには七年前に個人旅行で訪れた事がありましたが、時間を経てマハバディ寺院(大菩提)も多く物が変わってありました。セキュリティは厳しくなり、観光施設で世界唯一の携帯電話持ち込み禁止施設になりました。寺院の先端部分は石製でしたが、タイ国から贈られた金塊を装飾に加工して昔の物と入れ替えられています。道路の舗装や流通事情も少しずつ改善されており、スマートフォンの急速な普及や公的な手続きのオンライン化等、インドの発展を肌と感じました。

その一方で変わらず残っている文化や習慣にも目を奪われます。衣装や食べ物、交通などはもちろんですが、長期滞在によって個人旅行の時よりも深い所を知る事が出来ました。

インドは大きく発展をしていて物価が急上昇しています。日本よりも値段が高いレストランがあれば、対照的に路上で40円未満の食事を提供している露店があります。クレジットカードで買い物をする事が必須のショッピングモールがあれば、路上で旅行者の裾を掴む物乞いが居る。世界で最も人口の多い国は、日本人の言葉では語りつくせない程の文化的違いと多面性を内包しています。インドに長く訪れる人が居れば、その数だけ体験がある事は勿論、インドへ抱く印象も人によって違うでしょう。

インドにおける仏教の人口は0.2%ですが、聖地巡礼の為に世界各地から仏教徒が集まります。各国僧侶とはお互いにお経を読み合うなどの交流があり、情報交換は盛んです。日本仏教は正反対の要素も含んだ13の宗派を持ちますが、それとは異なる別の視点を持つ諸外国の仏教には感性を刺激されます。日本では当たり前だと思われる先祖代々供養する文化も、自然葬の多いタイの宗派では日本の様に一般的ではないのです。このような自分の常識の変遷というのは日本に居ては決して得られないものです。

皆様にも是非インドを訪れて頂き、自身の五感でインドの空気を確かめて頂きたいと思います。合掌



島野 尊章（聖徳宗 中宮寺） 駐在期間：2018年3月27日～9月14日

この度、短期間でありましたが、大変貴重な印度山日本寺での駐在をさせて頂きました。師僧から「更なる経験を積んできてほしい」とのお言葉を戴き、大変有難くも竺主であられる北河原猥下とのご縁により駐在僧に応募をさせて頂きました。

初日、到着したガヤ空港で作務衣姿の日本の方に出会いました。僧侶の方かな、と思っていたところ、先方からお声掛け下さいました。日本寺駐在僧として到着した旨を申し上げると、驚いたことに「私は最初の駐在僧でした」との事。偶然にも45年前に駐在していらした鳥居先生とご一緒の飛行機でブッダガヤに到着しました。鳥居先生はその日から1週間ほど滞在され、その間、日本寺設立当初のインフラが整っていないインドで、大変なご苦労とともに地元貢献する日本寺の基礎を築かれたとても有難いお話を伺うことができました。この事は、駐在最初の大変貴重な経験となりました。また、鳥居先生のご来寺を耳にした有縁の地元の人が、長時間鳥居先生を待ち、会った瞬間に駆け寄り懐かしむ姿に、言葉にならない程の感動を覚えました。



今年で45周年を迎える日本寺は、今では伝統あるお寺として地元にも認められ、駐在僧も守られている事を感じます。しかし45年前のブッダガヤではどんなに大変であったであろう…と、胸が締め付けられる思いでした。

最初にこの出会いがあったからこそ、酷暑の時期の駐在を苦しいと思うことなく、また、既に半年駐在していた先輩の加藤駐在僧の気遣いのご指導・ご協力のおかげで、一瞬たりとも辛いと思う事はありませんでした。

今回、同時に駐在した加藤師が座禅をなさる臨済宗であり、また観光繁忙期ではなかったため、一人ひとりの参拝者と深くかかわる事ができたと感じます。日本のみならず、ヨーロッパ、南北アメリカ、アジア、オセアニアからも個人旅行者が訪れ、勤行と座禅に参加します。日本寺の座禅に長く参加したいと、ブッダガヤ滞在自体を延長する人もおられました。そのような方々から勤行終了後に仏教に関する質問を受けたり、思いや悩みを聞いたり、僧侶本来のあり方も学ばせて頂いたと思います。この度の駐在の経験は、自らに深く刻み込まれたと感じています。

最後になりますが、このような貴重な経験を与えてくださった竺主の北河原猥下、師僧、国際仏教興隆協会の皆様に心から感謝を申し上げます。今後、この経験を活かせるよう精進して参りたいと存じます。合掌



日本寺本堂から望む菩提樹

2018年12月16日、JICA東京国際センターに於いて、前島訓子先生(愛知淑徳大学他非常勤講師)を講師に講演会『グローバル化を生きる聖地』を開催いたしました。約60名の方々にご参加いただきました。

インド独立後、ネルー首相の先導によって各国仏教寺院が建立され、2002年に大菩提寺が世界文化遺産に登録されて以降、世界中の仏教徒が巡礼に訪れる仏教の聖地ブッダガヤ。時代と共に変化した環境やその地に住む人々の聖地に対する認識など、地元住民への聞き取りを始めとしたフィールド調査による社会的側面からの仏教の聖地「ブッダガヤ」についてご講演いただきました。

前島訓子先生のご著書『遺跡から「聖地」へ グローバル化を生きる仏教聖地』(法蔵館)は書店にてお求めいただけます。



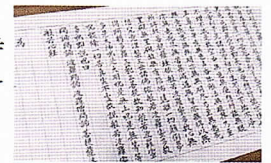
お知らせ

=◆写経で日本寺をご支援ください◆=

大切な方のご供養に、またご自身のご祈願成就のためにお写経しませんか。

お写経は、お釈迦様が悟りを得られた大菩提寺内の金剛宝座前で納経奉告後、日本寺で法要を厳修し納経いたします。お手本に写経用紙をかさねて般若心経を写経いただけるセットをお送りいたします。納経料は日本寺へのご寄附として頂戴します。

【納経料】2,000円 事務局までお電話またはメールでお申込みください。



印度山日本寺駐在僧募集

条件：僧籍保有者・宗派問わず(宗派・寺院師僧の推薦状必須)・単身赴任

【正規駐在僧】期間：6ヶ月～2年(期間応相談)

待遇：渡航費用・海外旅行保険・駐在慰労金・現地雑費手当

【短期駐在僧】期間：1ヶ月～3ヶ月 待遇：渡航費用等自己負担

※正規・短期共に日本寺で駐在中の食・住等当方負担



皆様からのご支援に感謝申し上げます。敬称略(平成30年6/1～平成30年11/30まで)

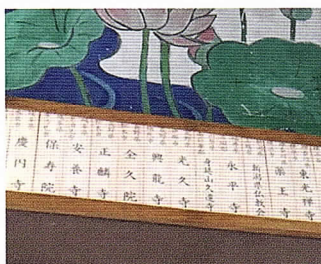
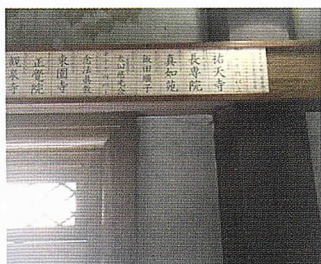
特別寄附		京都市		妙法院		大洗町		願入寺		茂原市		斎藤恵子		北区		興楽寺	
..... 100万円以上		大阪府				常陸大宮市		誕生寺		東京都				北区		寿徳寺	
東京都		大阪市		念法真教		栃木県				千代田区		神田寺		足立区		浄光寺	
目黒区 祐天寺		奈良県				宇都宮市		清巖寺		中央区		(株)日本香堂		足立区		西新井大師總持寺	
立川市 真如苑		奈良市		神奈我良		小山市		常光寺				ホールディングス		葛飾区		金蓮院	
		奈良市		東大寺		大田原市		黒田泰弘		港区		石上和敬		墨田区		古屋良子	
						栃木市		近龍寺		港区		(公社)日本		墨田区		正福寺	
						上三川町		鯨 照子				仏教保育協会		江戸川区		明福寺	
		北海道				群馬県				港区		妙定院		江戸川区		泉福寺	
東京都		札幌市		山下勝司		前橋市		群馬県仏教連合会		港区		(有)ルンビニホテル笠井		江東区		永岡喜美子	
港区 梅窓院		釧路市		大成寺		前橋市		志田洋遠		港区		浄土寺		江東区		赤堀菊枝	
台東区 末廣久美		岩手県				前橋市		光巖寺		港区		(公財)仏教伝道協会		江東区		善徳寺	
台東区 天王寺		花巻市		廣隆寺		太田市		空井俊憲		港区		櫻井英幸		江東区		安孫子虔悦	
江東区 正覺院		平泉町		大長寿院		桐生市		祥雲寺		台東区		長明寺		江東区		眞尾 茂	
杉並区 立正佼成会		宮城県				埼玉県				台東区		浅草寺		品川区		常行寺	
杉並区 観泉寺		松島町		瑞巖寺		さいたま市		延命寺		台東区		田中昭徳		大田区		自性院	
八王子市 金剛院		仙台市		清野幸雄		さいたま市		上村正剛		台東区		清光寺		渋谷区		飯田順子	
神奈川県		福島県				川越市		笠松猷一		台東区		北川一有		目黒区		巖谷勝正	
横浜市 東光禪寺		白河市		松本光代		川越市		蓮馨寺		文京区		光円寺		目黒区		澤 利明	
鎌倉市 高德院		会津若松市		融通寺		鳩山町		金澤寺		文京区		傳通院		世田谷区		白川淳敬	
静岡県		いわき市		小野道雄		東松山市		曹源寺		文京区		(株)彩石		世田谷区		千葉真知子	
函南町 (一社)オアシスの会		いわき市		真福寺		所沢市		金乗院		文京区		護國寺		世田谷区		常德幼稚園	
静岡市 實相寺		茨城県				熊谷市		歆喜院		文京区		真言宗豊山派		世田谷区		眞福寺	
京都府		取手市		古屋吉雄		千葉県				北区		福性寺		世田谷区		駒澤大学高等学校	
京都市 壬生寺		取手市		本願寺													

新宿区	滝田 栄	山梨県	佛子の会	京都市	(株)宇佐美修徳堂	広島市	武田宏道	静岡市	中村康雅
新宿区	西光庵	身延町		京都市	永観堂禅林寺	山口県		富士市	篠田節子
新宿区	真清浄寺	長野県		京都市	霊雲院	山口市	法明院	愛知県	
中野区	宝仙寺	松本市	玄向寺	京都市	向西寺	長門市	浄泉寺	知多市	大崎 保
中野区	相川忠重	松本市	全久院	城陽市	北尾順彦	徳島県		名古屋市	酒井けい子
杉並区	嶋田昌生	伊那市	角田泰隆	宇治市	山瀬拳吾	徳島市	(一社)徳島県仏教会	滋賀県	
杉並区	醫王寺	駒ヶ根市	安楽寺	右京区	伊藤哲雄	愛媛県		草津市	寺澤岳司
新宿区	玄國寺	塩尻市	興龍寺護持会	長岡京市	乗願寺	今治市	野間寺	大津市	渡部光臣
豊島区	小野塚幾澄	岐阜県		大山崎町	平田弘一	高知県		京都府	
豊島区	小山敬次郎	本巢市	慶円寺	福知山市	森 泰健	高知市	花岡正覚	宇治市	小永井征也
豊島区	全昌院	岐阜市	教徳寺	大阪府		福岡県		大阪府	
練馬区	寿福寺	多治見市	池田明雄	大阪市	弘昌寺	福岡市	(株)はせがわ	大阪市	平山眞史
武蔵野市	月窓寺	静岡県		大阪市	平岡英信	太宰府市	石田琳彰	大阪市	北浜法律事務所
調布市	光照寺	沼津市	真楽寺	大阪市	大阪府佛教会	豊前市	明徳寺	兵庫県	
調布市	深大寺	裾野市	(株)七栄	大阪市	井桁雄弘	長崎県		神戸市	森本 宏
府中市	山尾 崇	三島市	坂井則子	吹田市	櫛座 信	長崎市	別府節子	奈良県	
小平市	岡野 昭	熱海市	快長院	高槻市	清蓮寺	長崎市	葉山茂実	王寺町	福井昭典
西東京市	總持寺	富士市	秋山富美子	枚方市	原 芳嗣	長崎市	児玉成美	樫原市	森本貴美子
西東京市	浄心寺	富士市	八木やち代	大東市	祐照寺	諫早市	宮崎清彰	奈良市	松井みち子
東村山市	朝木宗佑	富士市	新豊院	八尾市	衣笠智恵子	宮崎県		島根県	
立川市	長塚充男	富士市	篠田節子	藤井寺市	道明寺	都城市	攝護寺	浜田市	柳樂一道
立川市	伊藤真聰	焼津市	光心寺	兵庫県				広島県	
立川市	西浦恭弘	焼津市	教念寺	神戸市	須磨寺			尾道市	藤原達祐
瑞穂町	圓福寺	磐田市	田中孝教	神戸市	藤井大俊				
八王子市	渋谷康悦	愛知県		西宮市	井上 驍				
八王子市	極楽寺	刈谷市	大音祖瑛	西宮市	土井紀明				
八王子市	関谷敷 正代	名古屋市	玄泉寺	西宮市	碓 雄神				
八王子市	不断院	名古屋市	伊藤靖彦	豊岡市	自性院				
八王子市	高尾山薬王院	名古屋市	今井有訓	加東市	清水寺				
町田市	勝楽寺	名古屋市	藤田 澈	奈良県					
町田市	大橋正明	南知多町	萩原賢良	奈良市	秋吉美由紀				
昭島市	竹口甲三	春日井市	蓮蔵院	奈良市	安田暎胤				
清瀬市	圓福寺	瀬戸市	宝泉寺	奈良市	三嶋 誠				
神奈川県		津島市	宇治谷 顕	奈良市	飯田二昭				
川崎市	教安寺	弥富市	富尾智恵	奈良市	興福寺				
川崎市	川崎大師平間寺	滋賀県		奈良市	(株)近畿日本ツーリス スト関西 奈良支店				
川崎市	藤田隆乗	大津市	園城寺						
川崎市	三好茂子	大津市	西福寺	奈良市	帯解寺				
川崎市	熊坂 正	大津市	天台宗務庁	奈良市	北河原孝子				
川崎市	熊坂加代子	大津市	渡部光臣	奈良市	北河原公敬				
横浜市	圓滿寺	大津市	雲住寺	奈良市	笹尾正道				
横浜市	金蔵院	大津市	池上良慶	奈良市	船津喜美子				
横浜市	孝道山本仏殿	近江八幡市		天理市	吉田明美				
横浜市	歓成院	草津市	正定寺	桜井市	小林恵美子				
横浜市	良忠寺	東近江市	内田卓也	橿原市	杉山玲奈				
横浜市	原口達久	東近江市	浄栄寺	王寺町	福井昭典				
横浜市	大圓寺	甲賀市	高原綱平	斑鳩町	中宮寺				
横浜市	光明寺	京都府		三郷町	植野忠治				
横浜市	太田雍子	京都市	浄土真宗本願寺派	平群町	田中眞瑞				
横浜市	早島大英	京都市	細見昌代	平群町	信貴山玉蔵院				
横須賀市	飯塚博道	京都市	番地章夫	大和郡山市	藤川保雄				
横須賀市	浄土寺	京都市	鞍馬寺	吉野町	金峯山修験本宗				
鎌倉市	光明寺	京都市	寂光院	島根県					
鎌倉市	米山公武	京都市	(一社)人京都仏教会	出雲市	一畑寺				
茅ヶ崎市	西田篤玄	京都市	上品蓮台寺	岡山県					
新潟県		京都市	丸西宗教織物(株)	美咲町	一畑寺				

習志野市	田中芳恵	吹田市	江崎道子	愛媛県		王寺町	日置雅夫	川崎市	熊坂 正
習志野市	三原章夫	東大阪市	善村文瑞	松山市	正安寺	香芝市	仲本昌之	石川県	
柏市	佐々木利夫	堺市	川上初枝			香芝市	南 幸治	白山市	藤間伸乃輔
東京都		堺市	柴田ゆかり	古本募金		香川県		岐阜県	
千代田区	神田寺	兵庫県		宮城県		高松市	川田博文	関市	佐藤明広
文京区	井澤貫道	西宮市	後藤美恵子	多賀城市	小笠原優子			美濃市	佐藤陽亮
北区	寿徳寺	奈良県		埼玉県		現地志納		静岡県	
墨田区	古屋良子	奈良市	三嶋 誠	入間市	嵯峨野(株)	 10万円以上		沼津市	大中寺
墨田区	飯田恵美	奈良市	矢迫秀敏	東京都		奈良県		函南町	今仁節子
江戸川区	泉福寺	奈良市	平田信利	千代田区	北野譲治	奈良市	薬師寺結縁衆	京都府	
江東区	子安一宏	橿原市	杉山玲奈	江東区	鈴木曜子	奈良市	東大寺	京都市	番地章夫
渋谷区	飯田順子	紀北町	谷本憲治	目黒区	石川俊輔	奈良市	北河原公敬	精華町	平松和子
目黒区	土田稔子	大和郡山市	常福寺	目黒区	岡田千尋			大阪府	
目黒区	澤 利明	大和郡山市	安満義香	目黒区	一ノ瀬佳世子			大阪市	久保秀子
世田谷区	千葉真知子	愛媛県		練馬区	村松あう子	北海道		大阪市	鈴木一也
練馬区	寿福寺	松山市	寺川勲雄	多摩市	松村由布子	岩見沢市	嵯峨義輝	大阪市	大念寺
府中市	山尾 崇	長崎県		神奈川県		岩見沢市	齋藤 聡	大阪市	清原夏樹
神奈川県		長崎市	別府節子	横浜市	富樫 悟	宮城県		大阪市	原 省三
川崎市	熊坂 正			横浜市	林 帯子	仙台市	中島壮治	大阪府	久保秀子
川崎市	熊坂加代子	光明施療院		静岡県		千葉県		大阪市	鈴木一也
横浜市	山下涼香	茨城県		沼津市	横山さみ子	成田市	成田山新勝寺参拝団	大阪市	大念寺
横浜市	東光禅寺	取手市	本願寺	愛知県		東京都		大阪市	清原夏樹
横浜市	林 帯子	群馬県		一宮市	平松良雄	渋谷区	東京恵比寿 ロータリークラブ有志	大阪市	原 省三
横須賀市	飯塚博道	高崎市	永津貴大	滋賀県		港区	天現寺	寝屋川市	栗正久美
伊勢原市	大谷三春	桐生市	祥雲寺	大津市	水野成人	福島県		兵庫県	
長野県		東京都		大津市	高明明峰	郡山市	福島正則 熱子	神戸市	大澤一郎
松本市	玄向寺	北区	寿徳寺	草津市	寺澤岳司	東京都		芦屋市	中野 剛
岐阜県		江東区	子安一宏	京都府		千代田区	井桁良雄	奈良県	畑中利久
本巢市	慶円寺	府中市	山尾 崇	京都市	細見昌代	港区	中村陽子	奈良市	吉川起代子
美濃市	井川昭栄	町田市	飛田 孝	大阪府		港区	(公社)日本 仏教保育協会	奈良市	北河原公慈
静岡県		神奈川県		大阪市	板東 敬	北区	武田弘子	奈良市	北河原孝子
富士市	篠田節子	川崎市	熊坂 正	茨木市	萩原万紀子	江東区	沼田彰史	奈良市	土庫光陽
静岡市	實相寺	川崎市	熊坂加代子	東大阪市	川口敏子	品川区	小松武司	橿原市	杉山玲奈
愛知県		横浜市	山下涼香	和泉市	佐中哲也	大田区	山崎晶三	平郡町	小野博子
知多市	神谷初枝	横浜市	東光禅寺	兵庫県		大田区	深井敏江	五條市	北山硯子
三重県		横須賀市	飯塚博道	芦屋市	中川麗子	渋谷区	森 寛子	香芝市	南 敬幸 敬眞
紀北町	橋本武彦	静岡県		芦屋市	大社啓二	渋谷区	森 浩司	香芝市	平川晴基
滋賀県		富士市	篠田節子	奈良県		渋谷区	(公社)全日本 仏教婦人連盟	島根県	
大津市	渡部光臣	静岡市	實相寺	香芝市	新名光子	世田谷区	島村 徹	益田市	松本祐二
京都府		京都府		和泉市	栗生浩二	世田谷区	阿部武彦	長崎県	
京都市	細見昌代	京都市	番地章夫	生駒市	大寫暁子	中野区	内田富美	長崎市	別府節子
京都市	小西淳子	京都市	得淨明院	奈良市	畑中利久	神奈川県		その他	佛教大学浄山道場
京都市	妙林寺	大阪府		奈良市	中田充浩	横浜市	鹿野融雅		岩元章香
京都市	栗本徳子	茨木市	路次和美	奈良市	東 良江	藤沢市	奥沢 昇		表 征史
京都市	高村和法	堺市	柴田ゆかり	奈良市	奈良交通(株) 総務人事部	川崎市	熊坂加代子		浦部廉子
長岡京市	乗願寺	奈良県		奈良市	安江克子				山田聖子
大阪府		奈良市	三嶋 誠						小宮登喜子

寄附者ご芳名の公表ならびに芳名版の掲示について 1万円以上ご寄附の方

ご寄附を賜りました方々のへの感謝の意を表しまして、御芳名を各施設芳名版に掲示いたしております。(各年度毎に更新)



❀ご支援のお願い❀

当協会ではインド・ブッダガヤへの更なる福祉活動の推進を図るため、印度山日本寺運営をご支援いただく護持会員、ならびに菩提樹学園、光明施療院の運営をご支援いただくサポートプログラムを設けております。

現在、財政的支援の減少により事業運営が厳しい状況に陥っています。どうか、皆さまの温かいご支援をいただきたくお願い申し上げます。

◆ 護持会員のご案内 ◆

年会費 個人会員:5,000円 法人会員:10,000円 維持会員:100,000円(いずれも1口以上)

◆ ヒューマンサポートプログラムのご案内 ◆

- ・菩提樹学園年間ペアレントメンバー 年会費:10,000円
- ・園児1人の文具代3,000円・1クラス(35名)分の給食代1,000円
- ・光明施療院サポート:10,000円



プログラムの他、任意の金額でご寄附をお願いしております。Webサイトからクレジットカードでのご寄附も可能です。菩提樹学園年間ペアレントメンバーを3年間ご継続いただいた方には記念品を贈呈致します。

▽郵便振替▽ 00110-4-5493 加入者名 公益財団法人国際仏教興隆協会

▽銀行振込▽ 三菱東京UFJ銀行 中目黒支店 普通預金 0127885 公益財団法人国際仏教興隆協会

※平成24年度より内閣府の認定を受けた公益財団法人として運営され、御寄附頂きました金額は「税額控除」「所得控除」の対象となります。

写経会のご案内

祐天寺様のご協力のもと、写経会を毎月開催いたしております。

まず祐天寺本堂で法要・法話ののち、「般若心経」をお写経いただきます。

お写経の後、お時間のある方に粗茶のご用意がございます。お仕事帰りの方やご家族でのご参加など、幅広い年齢層の方々にお越しいただいております。どうぞお気軽にご参加ください。ここでお納めになったお写経は、ブッダガヤの世界遺産大菩提寺での納経奉告の後、日本寺本堂で納経法要を厳修し納経いたします。

事前申込み・道具は不要です。毛筆・筆ペン・ボールペン・鉛筆をご用意しております。



【開催日】2019年 1/11 2/8 3/8 (金) 18:00~20:00 (17:30受付開始)

【場所】祐天寺 書院(東京都目黒区中目黒5-24-53)

【内容】法要・法話・写経 ※開催時間中途中参加も可能【納経料】2,000円(ご寄附として頂戴します。)

【アクセス】東急東横線祐天寺駅徒歩5分、JR恵比寿駅より用賀行バス祐天寺前下車す

公益財団法人国際仏教興隆協会

webサイト <http://www.ibba.jp/> 随時更新中!

印度山 日本寺

検索



@indo_nipponji



ibbajp

フェイスブック・ツイッターも更新中



事務局より

日本寺ではご参拝時、ご法要をお勤めいただけます。その際は、事前に下記事務所までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

編集発行

公益財団法人国際仏教興隆協会

〒153-0061

東京都目黒区中目黒5-24-53

TEL03-3711-7608 FAX03-3711-7673

e-mail: jimukyoku@ibba.jp

<http://www.ibba.jp/>